

広報つきがた

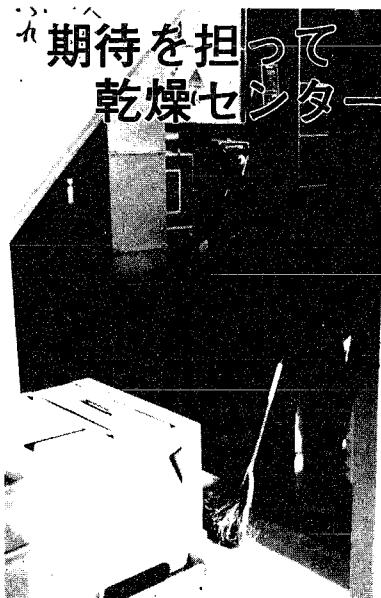
人口動態

5月31日現在
世帯数 813 人口総数 3,869
(男 1,885 女 1,984)5月中の異動
出生 6 転入 7
死亡 2 転出 11

No. 139

昭和56年6月10日発行
発行／新潟県月潟村役場
毎月10日発行 1部10円

(昭和52年7月22日第3種郵便物認可)



期待を担つて
乾燥センターが稼動

この日刈取りを始めたのは西脇
農家の一人、弁当を持って行かな
くともその分の収入を得られれば
と水田裏作麦に取り組んだもので
五六アールに試作したみのり麦。

今年産麦は、降雪が多く雪消けも
遅かったことと更には冷夏を思わ
せる低温気味で昨年より三七四日
程度刈取りが遅れているが、五〇

アールについては、水田裏作によ
り刈取り後すぐ稲を植え付けるた
めと水田に囲まれている圃場で水
が浸透し湿害を起こしていること
から他より成熟が早まつたもので
す。

作柄はまあまあとのことで「刈
取り跡の稲の出来具合をみて来年
も考えてみたい。自分で作つてつ
くづく感じたが、やはり集団圃場
により水をシャットアウトしない
作業は仲間で約一六〇アールがま
とまつたので今までの経験、技術
を生かし取り組みたい。」と、自

共同施設で 麦の乾燥・調整も大量処理

農協の麦乾燥調整センターが六
月八日稼動し栽培農家から大変喜
ばれています。

このセンターは、転作麦の作付
拡大とその定着化を図り地域農業
複合化による農業所得の向上に役
立てようと地域農業生産総合振興
事業で総工費約四、二九一万円を
投じ昨年十一月、ガソリンスタン
ド裏に建設し待ち望まれていたも
のです。

この日刈取りを始めたのは西脇
農家の一人、弁当を持って行かな
くともその分の収入を得られれば
と水田裏作麦に取り組んだもので
五六アールに試作したみのり麦。

今年産麦は、降雪が多く雪消けも
遅かったことと更には冷夏を思わ
せる低温気味で昨年より三七四日
程度刈取りが遅れているが、五〇
アールについては、水田裏作によ
り刈取り後すぐ稲を植え付けるた
めと水田に囲まれている圃場で水
が浸透し湿害を起こしていること
から他より成熟が早まつたもので
す。

作柄はまあまあとのことで「刈
取り跡の稲の出来具合をみて来年
も考えてみたい。自分で作つてつ
くづく感じたが、やはり集団圃場
により水をシャットアウトしない
作業は仲間で約一六〇アールがま
とまつたので今までの経験、技術
を生かし取り組みたい。」と、自

信の顔をほころばせながら話され
ていた。

天候も回復し麦秋にふさわしい
初夏日和の日、今年導入したばかり
の清新な貸出用の高性能コン
バインでみると、うらに刈取られ
た麦は、急速センターに運ばれた。

ここでは、乾燥、調整、袋つめの
作業が一日半の行程で行なわれる
もので、待ち構えたセンター作業
員の手により荷受けホッパーに入れ
られた麦は昇降機で乾燥機に搬出
され、あとは仕上がりを待つのみ。

センターやコンバインの利用は
集団転作組合または農家組合単位
とされており、麦乾燥調整料は一
俵(五〇Kg入)四〇〇円、コンバ
インは一〇アール当たり三、〇〇〇
円の貸出料とそれぞれ格安となっ
ており早くも希望申込が殺到して
いたと、遊休時においては、やさい
や果物の集荷物、大豆の脱粒、
調整の共同作業場に、また、米の
乾燥、調整にも処理が可能である
ことから農協では施設の有効利用
を図つて行こうと検討が進められ
ているとのことでした。

また、麦も連作すると極端に地
力が消耗するとのことで「有機質
の多投」、「大豆作との輪作」を
徹底するよう呼びかけておりまし